

< 参考 > クロロホルムについて

主な用途：

溶剤（ゴム、メチルセルロース、ニトロセルロース、酢酸など）、有機合成溶媒、合成原料（フッ素系溶媒、フッ素系樹脂など）、医薬品（麻酔剤、消毒剤など）等

国内生産量（平成 12 年推定値）：37,000 トン

輸入量（平成 12 年推定値）：60,772 トン

環境中濃度と一日暴露量：

媒体	濃度（平均）	一日暴露量（平均）
大気		
一般環境大気	0.23 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 程度（2000）	0.069 $\mu\text{g}/\text{kg}/\text{day}$ 程度
室内空気	1.0 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 程度（2000）	0.3 $\mu\text{g}/\text{kg}/\text{day}$ 程度
水質		
飲料水	6 $\mu\text{g}/\text{L}$ 未満（1999）	0.24 $\mu\text{g}/\text{kg}/\text{day}$ 未満
地下水	6 $\mu\text{g}/\text{L}$ 未満（2000）	0.24 $\mu\text{g}/\text{kg}/\text{day}$ 未満
公共用水域・淡水	6 $\mu\text{g}/\text{L}$ 未満（2000）	0.24 $\mu\text{g}/\text{kg}/\text{day}$ 未満
食物	0.0035 $\mu\text{g}/\text{g}$ 未満（2000）	0.14 $\mu\text{g}/\text{kg}/\text{day}$ 未満
土壌	データは得られなかった	データは得られなかった

～ に関する出典：「化学物質の環境リスク評価 第2巻」（環境省環境保健部環境リスク評価室 平成 15 年 3 月）

規制等

- ・化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）：第1種指定化学物質
平成 13 年度 PRTR 届出排出量
大気への排出 1784 トン
公共用水域への排出 174 トン
合計 1958 トン
- ・化学物質審査規制法：指定化学物質
- ・労働安全衛生法：第一種有機溶剤
管理濃度 10ppm
- ・毒物及び劇物取締法：第2劇物
- ・有害大気汚染物質優先取組物質
- ・水質汚濁に係る要監視項目（指針値は 0.06mg/l 以下）
（IARC（国際がん研究機関）の発がん性に係る分類：2B）

環境リスク評価結果

化学物質の環境リスク評価第2巻（平成 15 年 3 月）では、「健康リスクについては情報収集に努める必要があると考えられる。」と評価されている。